

授業科目	保育内容「健康」(AB クラス)				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH11210J		
開講年次	1 年	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP5-2 DP5-3			
担当教員	藤田 稔子							
授業概要	幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園における領域「健康」のねらい・内容に基づいて、子ども達が生きていくためのベースである健康的な生活基盤をどう育てるかについて講義および演習で授業を進めていきます。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼稚園・保育所・認定こども園における保育所保育に関する基本原則及び幼稚園教育の基本、領域「健康」のねらい・内容を知り、理解することができる 2. 領域「健康」のねらい及び内容を踏まえ、乳幼児が経験し身につけていく内容と指導上の留意点が理解できている 3. 領域「健康」において、乳幼児が経験し身につけていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりが理解できる 4. 乳幼児の認識や思考、動き等を視野に入れた保育の後奏の重要性が理解できる 5. 領域「健康」の特性や乳幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる 6. 指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる 7. 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身につけることができ、かつ、保育・幼稚園教育における評価の考え方を理解することができる 8. 領域「健康」の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる 9. 保育所保育指針における「養護」の観点と領域「健康」とのつながりが理解できている 10. 乳児保育及び1歳以上3歳未満児、3歳以上児の保育における領域「健康」の各内容と演習で体験するあそびが結びつけることができる 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	40	0	20	20	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)		40					40	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)				10	10	10	30	
技能・表現 (DP5-3)				10	10	10	30	
具体的な達成の目安								

理想的レベル		標準的なレベル		
保育における「健康」が理解でき、発達に即した環境構成や教材研究の実際を経験した後も、さらに保育内容を探究していくができる。		領域「健康」のねらい・内容が理解でき、子どもの体力をはじめとする発達に即した指導方法・援助を導き出すことができる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:保育内容の領域「健康」 保育課程や教育課程のなかでの領域「健康」の位置付けと「ねらい」「内容」を解説します。	講義 演習(GW)	予習 1:シラバスを読んでくる 予習 2:教科書 69～86 ページ を読んでくる 復習:教科書 74 ページ 課題 3 の自分自身の考えを記載する	30
2	テーマ:領域「健康」に関連する 0・1・2 歳の育ち 0・1・2 歳の具体的な姿を解説し、特に乳児期の保育 および 1 歳以上 3 歳未満児の保育に関する領域「健 康」で見えていくべき視点を明確化させます。	講義 演習(GW)	予習教科書 93～124 ページを 読んでくる 復習:課題プリントを仕上げる	30
3	テーマ:領域「健康」に関連する 3・4・5 歳の育ち 3・4・5 歳の具体的な姿を解説し、3 歳以上児の保育に 関する領域「健康」で見えていくべき視点を明確化させ ます。	講義 演習(GW)	予習:教科書 125～153 ページ を読んでくる 復習:課題プリントを仕上げる	30
4	テーマ:子どもの生活習慣の発達 生活習慣の獲得過程を示し、こどもが生活習慣を身 につけるために必要なことを解説します。	講義 演習(GW)	予習:教科書 25～32 ページを 読んでくる 復習:教科書 31 ページ 演習 課題を仕上げる	30
5	テーマ:子どもの体力の発達 最近の子ども達の体力について解説し、体力作りに 必要な保育環境を考察します。	講義 演習(GW)	予習:教科書 33～58 を読んで くる 復習:教科書 58 ページ 演習 課題を仕上げる	30
6	テーマ:子どもの安全への意識の発達 子どもの認知的発達を確認し、安全への意識作りと保 育者の役割を考察します。	講義 演習(GW)	予習:教科書 59～68 ページを 読んでくる 復習:教科書 67 ページ 演習 課題を仕上げる	30
7	テーマ:子どもの食の問題 子どもを取り巻く食に関する問題を解説し、健康作りと しての「食」の在り方を考察します。	講義 演習(GW)	予習:教科書 171～180 ページ を読んでくる 復習:教科書 180 ページ 課 題 2 を仕上げる	30
8	テーマ:領域「健康」と環境構成 特に、戸外環境(遊具、自然環境)について、実際の 遊具等を使用しながらグループごとで調査し、よりよ い環境を考察します。	講義 演習	予習:教科書 81、121～124、 135～152 ページを読んでくる 復習:演習の振り返りシートを 仕上げる	30
9	テーマ:小テスト第 1 回・領域「健康」指導計画 1 園生活の中で、子ども達がこころの安定を保つために 好ましい環境づくりを検討します。	小テスト 演習	予習 1:小テストに備えた勉強 予習 2:教科書 163～169 ペー ジを読んでくる 復習:演習の振り返りシートを 仕上げる	90
10	テーマ:領域「健康」指導計画 2 発達段階を踏まえた運動あそびの指導案を立案し、 実際にあそびを体験し省察する	演習	予習:事前に提示した準備を してくる 復習:授業で取り上げたあそ びについての振り返りシートを 仕上げる	30

11	テーマ:領域「健康」指導計画 3 「生活の場を整える」「食への関心を高める」「健康や病気に興味をもつ」「危険や安全に関心をもつ」の内、グループで決定したねらいに沿った発達段階を踏まえた指導案を立案し、それに必要な教材を作成します。	演習	予習:事前に提示した準備をしてくる 復習:計画性を持って準備を進める	30
12	テーマ:領域「健康」指導計画 4 「生活の場を整える」「食への関心を高める」「健康や病気に興味をもつ」「危険や安全に関心をもつ」の内、グループで決定したねらいに沿った発達段階を踏まえた指導案を立案し、それに必要な教材を作成します。	演習	予習・復習:計画性を持って準備を進める	30
13	テーマ:領域「健康」指導計画 5 「生活の場を整える」「食への関心を高める」「健康や病気に興味をもつ」「危険や安全に関心をもつ」の内、グループで決定したねらいに沿った発達段階を踏まえた指導案を立案し、それに必要な教材を作成します。	演習	予習・復習:計画性を持って準備を進める	30
14	テーマ:領域「健康」指導計画 6 「生活の場を整える」「食への関心を高める」「健康や病気に興味をもつ」「危険や安全に関心をもつ」の内、グループで決定したねらいに沿った発達段階を踏まえた指導案に基づき模擬保育し省察します。	演習	予習:模擬保育ができるように準備する 復習:模擬保育の振り返りシートを完成させる	30
15	テーマ:小テスト第2回・5領域のなかの領域「健康」前回の模擬保育の講評をします。また、総合的な視点の指導計画において、領域「健康」がどのように関わってくるのかを考察します。	演習(GW) 小テスト	予習:小テストに備えた勉強 復習:本科目の総復習をする	90
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「こどもの運動あそび」、「保育内容総論」、「保育の心理学」は関係が深い科目です。関連付けて授業に臨んでください。			

テキスト	・コンパス 保育内容 健康、前橋明(編著)、建帛社、2018、2400 円+税 ・平成 29 年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考にして欲しい雑誌:各種保育雑誌(「保育のひろば」や「月刊保育とカリキュラム」など)の実践の頁
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	この科目は、日常生活習慣に密着した内容がほとんどです。自分自身の日々の生活を見つめ直しながら授業に臨んでください。また、演習が中心の授業です。積極的な姿勢が大切です。
達成度評価に関するコメント	(1)小テスト:2 回実施し、採点後はテストを返却しますので学びの見直しに活用してください。 (2)発表:第 14 回の模擬保育の内容を評価します。 (3)レポート外の提出物:第 14 回で用いた教材について評価します。 (4)その他:各演習の振り返りシート、指導案や教材作りの取り組み度で評価します。